

Guel ❤ Sulleta

Guel❤Sulleta love comedy book for adult.
Hirofumi Naruse 2023 RenaiMangaka presents.



R18

FOR ADULT ONLY





ベネリット
グループ
解散後

偽造の個人証明
じやダメだつたよ
スレッタが
高度医療を受けるには

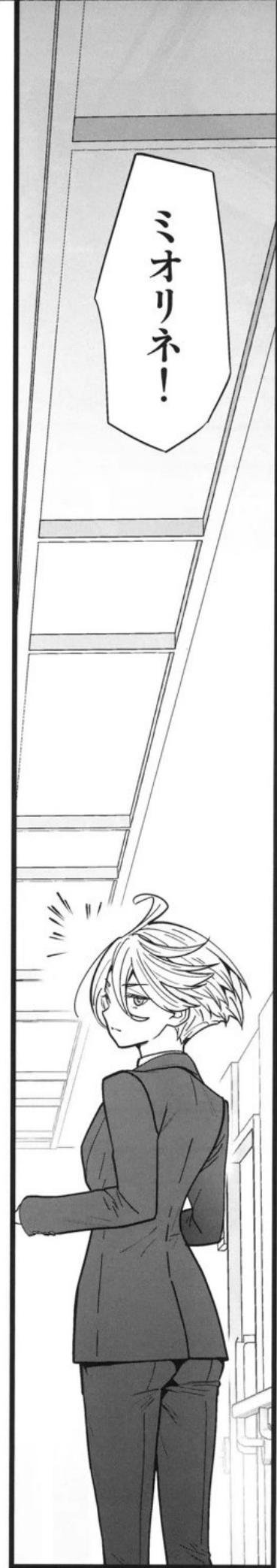
最初は養子も
考えたんだけど

キャリバーンの
決出撃前にいた
ことよ

後遺症が
残るだろうつて…
聞いていたから

スレッタと
あの人との縁を
切るべきじや
思ないとい
直したから

ミオリネさん…



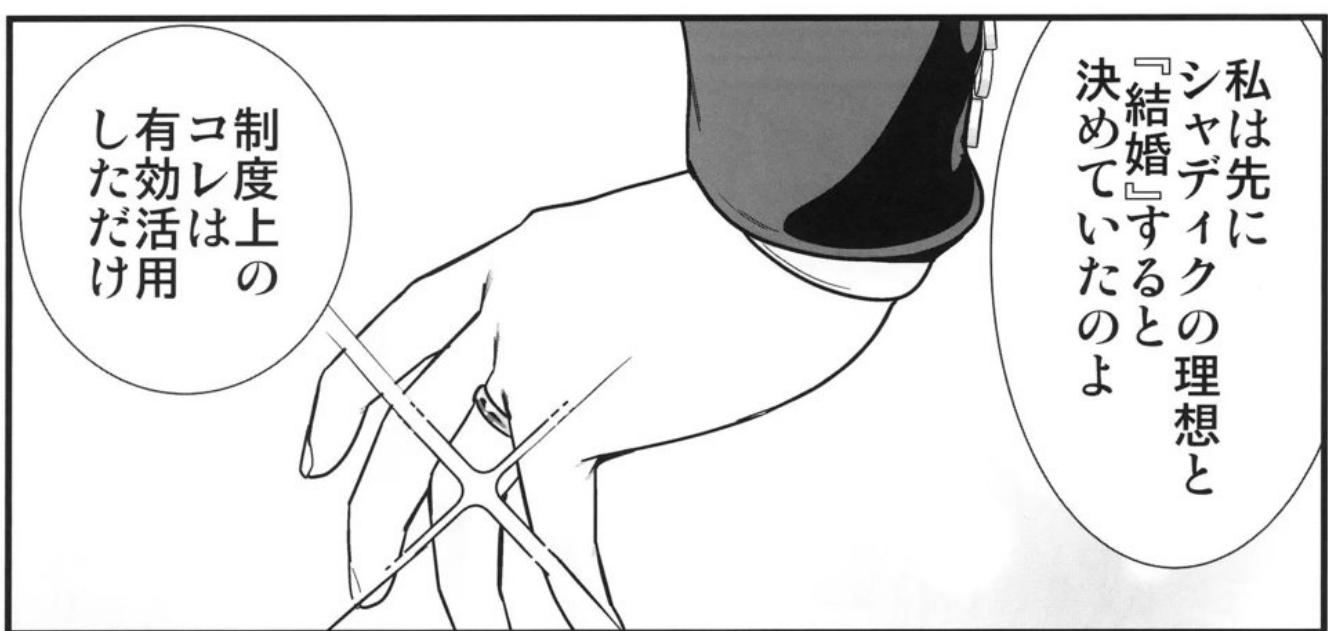
あ今な
いといつが私にで
かなかつたか

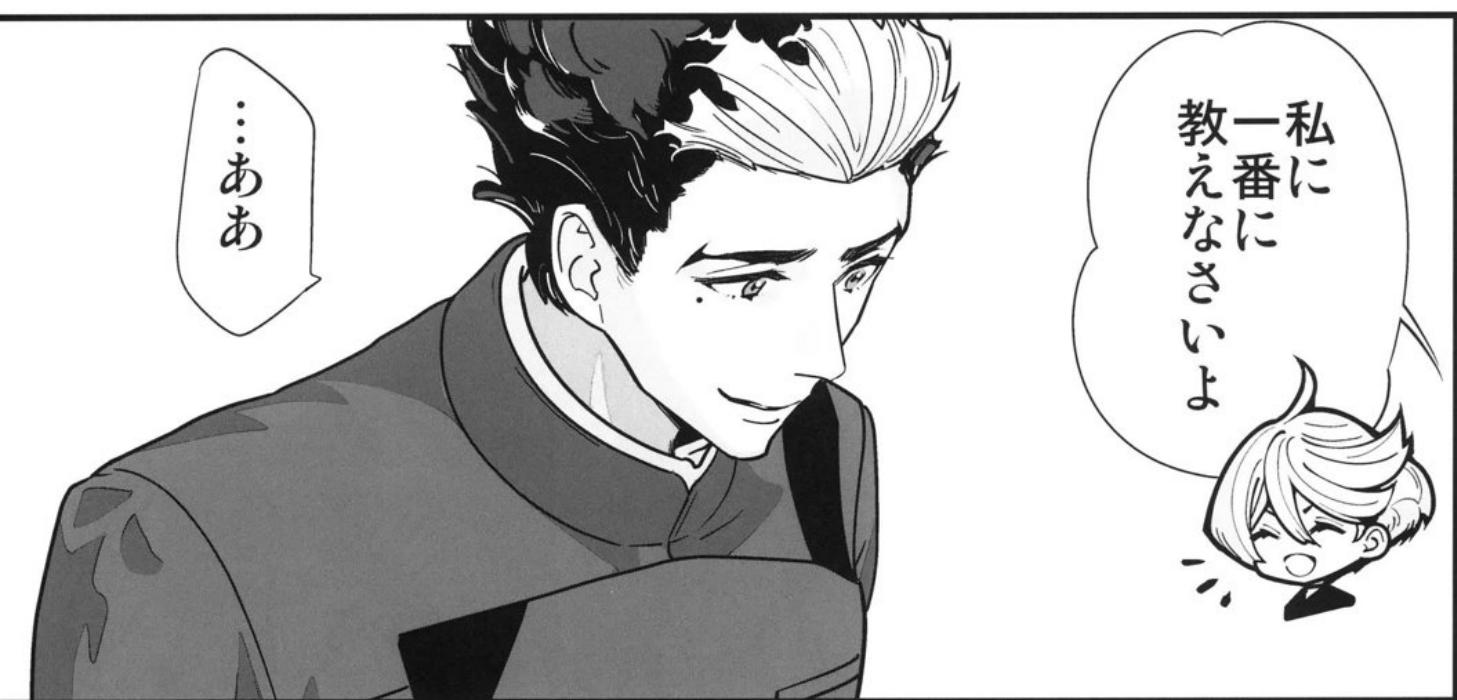
おかしい
わよね
強引な手段で
母さんの理想を継いだ
親父と一緒に

あいつ以上かも
しれないわね

結構
狙われて
いるのよ







アステイシア
学園の
復旧も大分進んだ

よ
よかつたあ〜



専松葉づえ
用のつえを作つ
もらつたんです

軽い

すいません
重いですよね…



作学校
作りたいんです

本物の
地球の空つて
不見宇宙明るい時に
見えないのが
不思議です

だから今は
勉強を
張りたくて

笑お母さん
よつとだけ
笑つてくれただけ

グエルさん

グエルさん

モー

ASTICASSIA CAFE

グエルさん？

スレッタを
吸つている…

ええつ

どうしたん
ですか

お仕事
疲れ様です

すん
すん



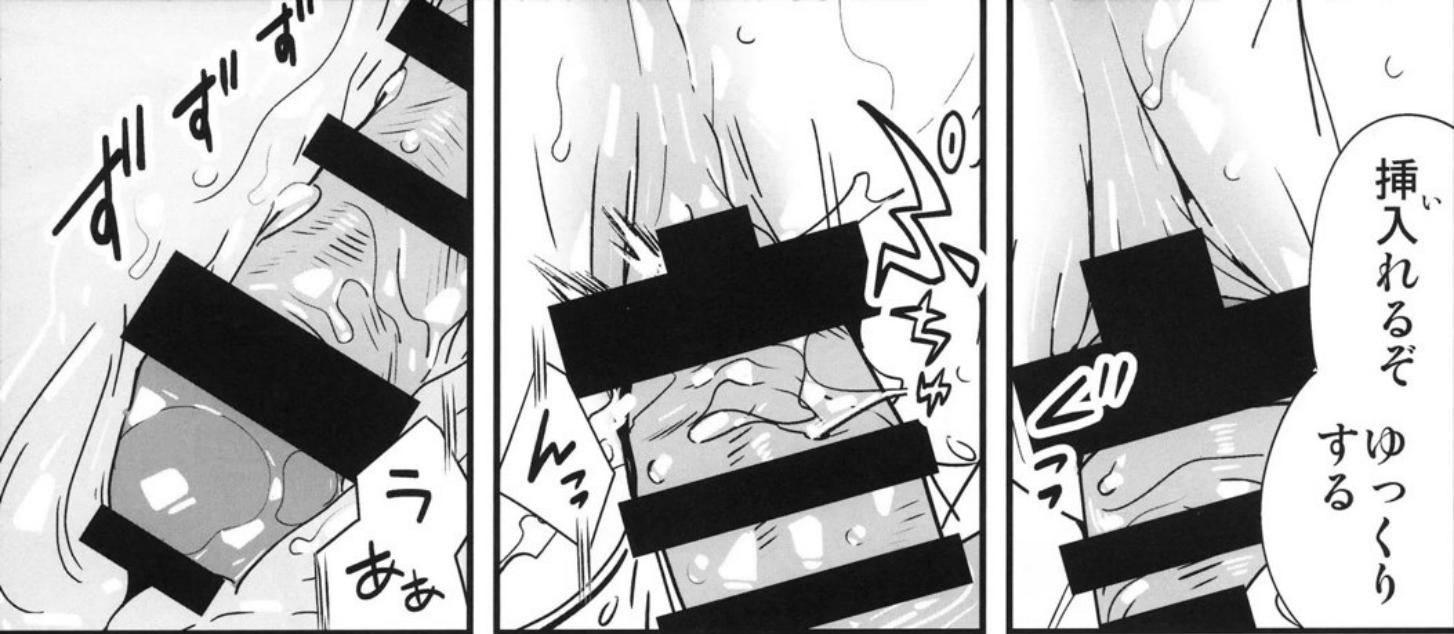












だからこれは
本当に『ケア』
でしかなくて…

W

勘違い
しそうに
なつ
ちやに
う

す…
すごくなるし…

欲しがられ
つててるのからもれ

胸が痛い

苦しい

また

でも

おおきい





射精されてる…

奥にピッタリ
くっつけて

熱…が…

は、

射精すぞ…！







POSTSCRIPT

こんにちは、もしくははじめまして。鳴瀬ひろふみです。水星の魔女（グエル×スレッタ）の同人誌としましては三冊目の本になります。今回、出だしで描いた部分に関して、アニメ本編をどう解釈して、こういう回答に至ったのかについて解説した方がいいかな、と思い三冊目にして初めてトーク部分を設けることにしました。

あくまで私個人の解釈ですので、こんな風に考えてお話を練ったのだなという脳内グルグルの軌跡として捉えていただけましたらと。

ミオリネはパーメットスコアを上げることによるリスクは聞いていて、事前にスレッタと話し合いはしておいて欲しいなあ、と思っています（本編描写ないですが……）。「スレッタがどんな気持ちでキャリバーンに～」というセリフに対応するシーン自体の描写が無いので（泣いてた、という一言処理だったので……）まあ、なんかあったんだよ、話し合いが！　たぶん！　ということにしています。

スレッタはエリクトから流し込まれた記憶で生きて戻れない覚悟はあったはず。生き残っても廃人に等しくなるやも……という危惧は伝えたんじゃないかな（たぶん）。泣きながら伝えるってよほどのこと。母親から愛されていないことも諦念気味に語っていたぐらいなので。

ミオリネはシャディクとの面会で、シャディクが成そうとしていたことを聞いていて、端的に成せる『ベネリットグループの資産を地球にバラまく』をあの時実行したのだと思います。その後、政治の世界で地球との懸け橋になっているのはシャディクの理想の中でも時間をかけてやるべき要素で、ミオリネはどの程度の覚悟かは分かりませんが、若さゆえの勢いでシャディクの見つめる先に、同じように舵を切ったのだと思います。

同時に、スレッタの保護を考えたのではないかと。スレッタの個人証明はリプリチャイルドだし、正式な出生証明が成されていない可能性があるので、婚姻によって正式な個人証明を与える感じで……と、今回はそういう設定で話を作っています。ミオリネはスレッタと違って恋愛や結婚に夢を見るタイプでも無いので、結婚という儀式にロマンチックな思い入れは無いでしょう。有効であれば手段として使う可能性は十分にあるかと。

スペーシアンとアーシアンのハーフは、地球に割といるんじゃないかなあという印象です。出生証明も怪しい子供たちがいそうですし、養子縁組みや婚姻で個人証明を得る人もいそう。多分優秀だったり、見た目が綺麗だったり、というピックアップに値する要素は必要な気はしますが……。身近に養子となったシャディクがいたので、そういう手法を用いて帰還したスレッタの治療に当たる気でいた……という感じであって欲しい。いや、死地に送り出す前に止めてくれ……と思いますが。

現状のミオリネ考。

ペネグルの資産地球にバラきましたよ！　地球との懸け橋になる政治家になりますよ！　となるとかなり敵が多い状態に置かれていると思います。

恐怖政治（恐怖経営？）を行っていたデリングは作中以外でも暗殺未遂が多かったと思います。ノートレットと「どちらかだけでも生き残る」という約束をする位なので、かなり大変だったでしょう。実際、ノートレットは死んでいますし、ミオリネは色々取り上げられて安全な場所に押し込められていきました。

恐怖経営とはいえグループ資産のおかげで儲かっていた人も多かったはず。それでもデリング状態になるんですから、グループ資産を独断で売却したらどれほどの敵意が彼女に向くか。さらには政治家に転身し「宇宙と地球との懸け橋になりたい」という動きをした場合、現実に当てはめて考えますと『外国に利益供与した過去のある人間が、その外国のために政治家として動いている』という風に見えててしまうので、反発するスペーシアンもいると思います。（当然、味方もいると思います。彼女の活動によって益が出る層もいるはずなので）

デリングがミオリネを遠ざけていたのは、ひとえに安全のためと思われるのでは、今作ではミオリネとスレッタはあまり会えていないと設定しています。

退院後、麦畑の自然あふれる場所も、安全な囲いであった『学園』と同等と考えています。本来、重力の軽いフロントで過ごしたほうが楽だと思うのですけれど、前述の通りミオリネにとって宇宙は安全圏でない可能性が高いので、地球に置っていると。

まあ色々とこねくり回したのですが、あくまで二次創作であり、独自解釈ですので細かい部分で「ん？」と感じましてもご容赦を……。『思想との婚姻』という考え方方は我ながらしつくり來たので、なんかそんな感じでカッコよくミオリネのキャラを脳内で消化できたらいいなあと思っています。

スレッタには本当に幸せになって欲しいし、色々感じて学んで、成長して欲しいです。彼女にとっての恋は4号だと思うんですけど、グエルとは愛を育んで欲しい。彼女が唯一嫌な顔まで向けられる、素で接することができる相手だと思うので。

製作 恋愛漫画家
発行日 2023.8.12
印刷 ねこのしっぽ
連絡先 hironasu@mud.biglobe.ne.jp
無断転載・複製はお止めください



June 2025

Centri